

塙校舎 読書推進プロジェクト

1 学校の概要

- ① 福島県東白川郡塙町大字台宿字北原 121
- ② 学級数 2クラス 生徒数 15名 (令和6年5月1日現在)
- ③ 学校図書館の蔵書数 1,556冊 (令和6年5月1日現在)

2 記載内容

- ① 生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

- ・ 推薦図書コーナーの設置

「本屋大賞」「映像化特集」といったポップをつけ、推薦図書専用の棚やスペースを設けた。

- ・ 蔵書検索システムの導入

簡単にQRコードから読みたい本などの検索ができるよう整備した。また、本校舎との間で相互貸借を行えるようにした。

- ・ 本のリクエスト受付

生徒から図書館に入れてほしい本のリクエストを受け付け、可能な限り対応した。

- ・ 図書館行事の実施

ハロウィンの時期にプレゼント企画をおこなったり、その時々で話題となっている映画・アニメの映像化に関する書籍の特設コーナーを作ったりするなど、生徒が本に親しみやすい学校図書館の環境を整備している。



- ② 学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

- ・ 秋の読書週間

生徒の読書習慣の定着を図るため、10月27日から11月9日を「秋の読書週間」として、さまざまな企画を立てている。

- ・ベストリーダー賞

年間の貸出冊数の多い生徒に対して表彰を行う「ベストリーダー賞」を設け、読書習慣の定着を図った。

- ・長期休業期間の長期貸出の実施

長期休業期間には、長期貸出期間を設け、読書習慣の定着を図った。

- ・「ビブリオ・はなわ」の発行

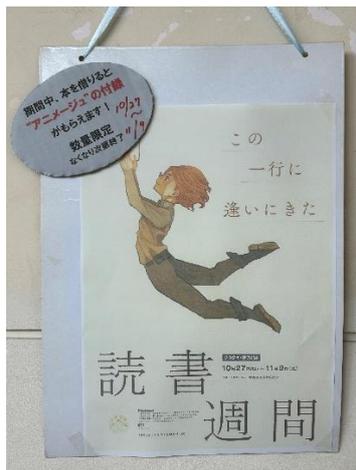
毎月、図書日より「ビブリオ・はなわ」を恰好し、生徒に読書の楽しさを伝え、読書習慣の定着を促した。

- ・「おでかけ ビブリオ・はなわ」

図書館の本の一部（20冊程度）を、各クラスへ2週間ほど“おでかけ”させ、貸し出しも可能とすることで、読書習慣の定着をはかっている。書籍の種類もバラエティ豊かで、いつもなら手に取らないような本も多く、新しい読書体験を喚起できている。

- ・「図書館報」

年度末に、白河校舎と合同で図書館報を発行し、生徒・教職員が推薦図書や読書体験などを寄稿し、読書活動を啓発している。



### ③ 読書活動の質の向上へ向けた取組

- ・ポップの作成

全校生でおすすめの本のポップを作成し、相互に紹介することで、自身の読んだ本を振り返る契機とするとともに、他者の推薦する本を知り、更なる読書活動へと繋げた。

### ④ その他、読書活動推進へ向けた取組

- ・公共図書館との連携

授業で必要な資料を充実させるため、団体貸し出しを活用している。